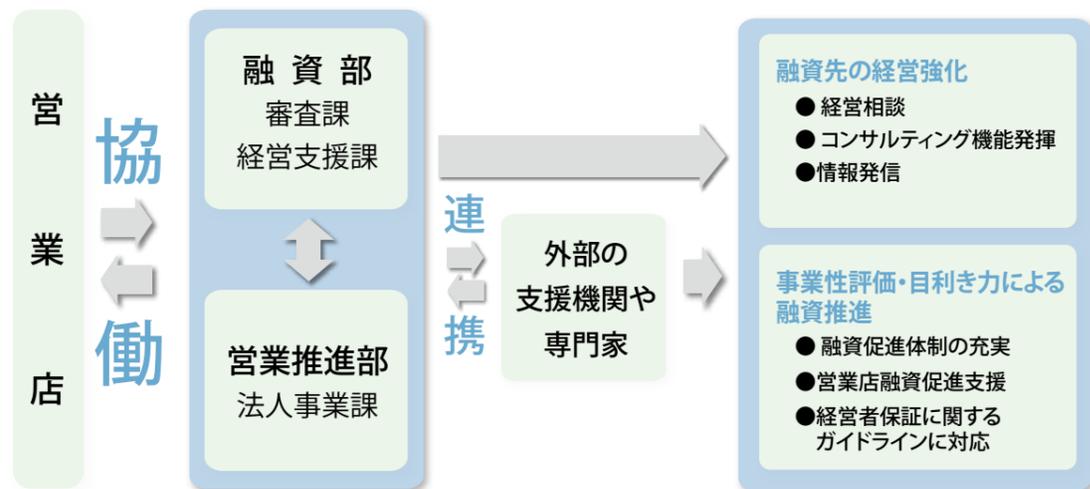


企業の活力を支援する取組み

当金庫では、企業経営のさまざまな課題について中小企業診断士がお客様からの相談内容に応じて、財務改善を中心とした経営診断、経営計画等の策定などのお手伝いをいたします。また、信用保証協会、政府系金融機関や地元商工会と協調し、お客様と強固な信頼関係を構築いたします。より専門的な支援として、地域経済活性化支援機構や中小企業再生支援協議会とも連携し、再生支援を行います。



経営相談・経営支援

お取引先に専任の中小企業診断士が財務指導や経営相談を行い、事業者様のご要望にお応えしています。

平成 27 年度の取組み状況について

《中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組み状況》

平成 27 年度は、地域金融機関としての社会的使命を果たすため、次のことを重点施策として中小企業の経営支援、地域経済活性化への貢献に積極的に取組みました。

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

お取引先の経営課題を把握・分析した上で、資金供給者の役割のみならず、取引先企業に対するコンサルティング支援を行いました。また、事業のライフステージに応じた各段階でのきめ細かい支援に取組み、地域経済の活性化のための資金供給や情報提供・経営相談・改善支援などを行いました。貸出条件の変更等にも真摯に対応し、資金繰りの円滑化を図りました。

①お取引先との信頼関係を深化させ、財務・定性情報に基づいた実態把握と経営課題の把握・共有に努めました。企業のライフステージや事業の持続可能性を見極め、最適なソリューションの提案に努めました。

＜経営支援先として 40 先を選定、うち新規改善支援取組み 9 先、改善計画策定 6 先＞

②外部機関と連携したより専門的な支援を行いました。

・経営改善事業（中小企業再生支援協議会の計画策定 1 件、兵庫県経営改善支援センターの計画策定 2 件、兵庫県信用保証協会の経営サポート会議 6 件、地域経済活性化支援機構の債権譲渡 1 件 など）

・専門家派遣事業 専門家派遣 11 件（兵庫県信用保証協会、中小企業庁ミラサポ、中小企業基盤整備機構、ひょうご産業活性化センター、兵庫県よろず支援拠点など）

③企業のライフステージを見極め、各種の中小企業支援施策を活用した支援を行いました。

●創業・新規事業開拓の支援

・事業の成長可能性を評価し、地域の活性化に向けた支援を行いました。

＜創業・新事業融資 25 件 250 百万円＞

・日本政策金融公庫とも連携した開業支援を行いました。＜創業関連 3 件 22 百万円＞

●成長段階における支援

・融資審査能力・目利き力の向上等の人材開発に努め、事業性評価に基づいた融資に努めました。

＜設備投資など「成長・育成」につながる新規融資 390 件 6,783 百万円＞

・新たな販路の獲得の支援

「個別商談会の開催（11月19日）」バイヤー9社 参加事業所 24社 成約3件（9件継続中）

「川上川下ビジネスネットワーク事業」新たに4社の調査依頼を受付。マッチング実績2件

・日本政策金融公庫と連携した支援を行いました。＜成長関連 32 件 585 百万円＞

・「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」「地域経済循環創造事業交付金」「地域商業自立促進事業費補助金」「商店街まちづくり事業費補助金」「各地公体等の補助金」等の申請に関与し、手続きの支援や資金調達のアドバイスを行いました。＜補助金等交付 61 件 331 百万円＞＜協調した融資 61 件 838 百万円＞

・事業価値を見極め、担保・保証に過度に依存しない融資審査を進めました。

なかしん個別商談会「食の祭典」開催

平成 27 年 11 月 19 日（木）に地元事業者様と大手百貨店、インターネット通販サイトを結ぶ第 3 回なかしん個別商談会「食の祭典」を開催しました。今回は、より多くの出会いを生み出そうと丹波市、篠山市の後援・地元各商工会の協力を得て前回の倍以上の規模で行い、地元 24 事業者様とバイヤー企業（買い手）9 社が参加され延べ 70 商談が行われました。バイヤーの各ブースに参加事業者様が訪れ約 30 分で自慢の商品（スイーツ、お酒、ハム、ヨーグルト、お茶、ドレッシング等多数）を説明。バイヤーは試食も行いながら素材や製法などについて質問等を重ねられました。「初めての味や食感に感動しました!!」との声も多数聞かれました。平成 28 年 4 月末現在で契約や商品納入は 3 先、商談継続中は 9 先という状況であります。三越伊勢丹の新宿店日本酒売場で催事販売（試飲販売会）が決定した丹波市の西山酒造場様（営業担当者）は「関東圏への売込みを模索していた時期に今回の商談会に参加した。偶然にも日本酒を得意とする担当者であったため、お互いのニーズが合致し三越伊勢丹での催事販売契約に至った。これをきっかけに関東方面での販売拡大を図りたい。また次回の商談会にも是非参加したい。」と語られました。今後も地元事業者の方が地元食材を利用した魅力あふれる商品を紹介することで、広く情報発信を行い販路拡大に結びつくことを目的として開催を継続的に計画してまいりますので是非ご参加ください。



●経営改善・事業再生、条件変更等の支援

- 改善計画の策定や条件変更等においても、お取引先の実態と申込み内容の妥当性と実現可能性を検証し円滑化支援を行いました。また、必要に応じて他の金融機関等と緊密な連携を図りました。地域経済活性化支援機構の再生計画にも協調して支援（債権譲渡1件）を行いました。
- 貸付の条件変更先からの新規融資の申込みに対しても、改善計画の内容や債務償還能力を検証し適切に対応しました。＜円滑化関連 117件 1,299百万円＞
- 中小企業者の債務者区分ランクアップ実績 43先（うち、集中的に支援を行っている経営支援先では5先）
- 事業の持続可能性が見込まれない先に対しては、経営者の生活再建や当該企業の取引先への影響を踏まえ慎重に対応し、円滑な債務整理に向けた支援を行いました。

●経営支援等の取組み実績（平成27年4月～平成28年3月）

	期初債務者数 A	うち経営改善支援取組み先数 a	（単位：先数）			経営改善支援取組み率 a/A	ランクアップ率 β/a	再生計画策定率 δ/a
			aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 β	aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 γ	aのうち再生計画を策定した先数 δ			
正常先 ①	3,416	6		5	1	0.2		16.7
要注意先	うちその他要注意先 ②	420	26	5	19	6.2	19.2	53.8
	うち要管理先 ③	51	6	0	5	11.8	0.0	83.3
	破綻懸念先 ④	87	2	0	2	2.3	0.0	100.0
実質破綻先 ⑤	96	0	0	0	0.0	—	—	
破綻先 ⑥	41	0	0	0	0.0	—	—	
小計（②～⑥の計）	695	34	5	26	21	4.9	14.7	61.8
合計	4,111	40	5	31	22	1.0	12.5	55.0

※「期初債務者数」は、法人・個人事業主です。
 ※ランクアップとは、ご融資先の財務や経営状況に応じてランク分けした「債務者区分」が経営の改善により、上位の区分に変更になることをいいます。

●事業承継への支援

- 中小企業基盤整備機構の事業承継コーディネーターによる職員向け勉強会を行うと共に、取引先向け「個別相談会（平成28年2月15日）」も開催しました。（相談4社）
- 事業承継に向けての自社株評価の相談に対し、中小企業基盤整備機構のアドバイスを受けながら株価算出等の支援を行いました。（相談1件）



個別相談会

2. 地域の面的再生への積極的な参画

地方創生に向けた金融機関の役割を踏まえ、地域の各種団体等との連携を深めた地域活性化への貢献に取り組ましました。

- 地域の各種団体等との連携
 地元の地公体や商工会等と連携した会議等にも積極的に参加し、地域経済の課題や発展の可能性等を把握・分析した上で、貢献可能な分野を検討し役割を果たしました。（地方創生戦略策定 3地公体の委員として参画）
- 地域の市街地活性化に向けた支援
 地域の中心市街地活性化支援事業と連携し、今年度2件の開業を支援いたしました。また、地域資源を活用した地域経済循環創造事業にも行政と連携して取り組みました。（交付決定1件）
- 北近畿中小企業支援連絡会議の創設
 北近畿の金融機関が連携して取引先の円滑化支援を行う仕組みに参画し、協調改善に向けた情報交換を定期的に行うと共に、お取引先向け経営戦略セミナー（福知山会場、豊岡会場）も開催しました。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

お取引先の利便性の向上に向け、積極的な情報発信を行いました。

- NBC（なかしんビジネスクラブ）の運営を通じ、レポート配信、経営セミナーの開催など経営情報の提供を行いました。
 ◇新人若手社員研修 テーマ：「社会人としての意識改革・行動改革」 講師：(株)タナベ経営
 ◇経営セミナー テーマ：「政治の課題と行方」 講師：片山善博
 ◇経営セミナー（3会場） テーマ：「マイナンバー制度セミナー」 講師：(株)日本マネジメント協会
 ◇経営セミナー（2会場） テーマ：「営業力強化セミナー」 講師：(有)アクトコンサルタント



新人若手社員研修

政治の課題と行方

マイナンバー制度セミナー

営業力強化セミナー

- 第17回なかしんふるさと賞「商工業、伝統工芸・文化、ボランティア部門」において、地域に貢献され活躍されている11の団体・個人を顕彰し地域に紹介しました。
- なかしん年金友の会「わくわく倶楽部」の優待サービス提携施設を増加充実させ、地元観光業者の広告と販促に貢献しました。
- 地域景気動向調査を定期的（年4回）に実施し、分析結果を情報としてホームページに掲載し還元しました。
- CS（顧客満足度）アンケート調査を行い、意見箱の活用と併せて、より多くの会員や利用者の方々のご意見、ニーズにお応えできるよう適切な対応に努めました。＜CSアンケート無作為抽出郵送先数 2,500先、うち回答数 679先＞



わくわく倶楽部



景況レポート



CSアンケート

「経営者保証に関するガイドライン」への対応について

当金庫は、平成 26 年 2 月 1 日から適用が開始されました「経営者保証に関するガイドライン」（日本商工会議所と全国銀行協会を共同事務局とする「経営者保証に関するガイドライン研究会」が策定）に適切に対応いたします。当金庫と中小企業の経営者の皆さまとの間で、新たに保証契約を締結する場合、既存の保証契約の見直しや保証債務の整理をする場合等にこのガイドラインが適用されます。

中小企業者等の金融円滑化に向けた基本方針

当金庫は、相互扶助の理念の下、地域の中小企業者の方や個人のお客様に必要な資金を安定的に供給し、地域の発展に寄与するため、以下の方針に基づき、地域金融機関としての社会的使命を果たしてまいります。

1. 地域の中小企業者の方や個人のお客様の実態把握等を十分行い、必要で安定した資金を円滑に供給していくことが、地域金融機関の最も重要な役割であると考え、積極的な金融仲介機能を発揮していきます。
2. 事業資金や住宅資金を借入されているお客様から、条件変更等について相談や申出があった場合には、その要請を真摯に受け止め、抱えておられる課題解決に向けてきめ細かな対応を行います。
3. 経営相談や経営再建計画の要請等に対しても、十分な話し合いを行い、お客様と一体となって事業等についての改善や再生のための経営支援に取組みます。
4. お客様からの申出について、他業態も含め関係する他の金融機関等がある場合には、他の金融機関等と緊密な連携を図りながら、地域金融の円滑化に努めます。
5. 金融円滑化に関する取組みがより適切で有効に機能するように、組織的な管理体制や職員に対する研修・指導等についても、適宜見直しや改善をはかります。

金融円滑化への取組みについて

中小企業者の方や住宅ローンをご利用のお客様からのご相談に幅広くお応えし、貸付条件の変更等や円滑な資金供給に努めています。

1. 金融円滑化管理に関する方針

当金庫は、地域の健全な事業を営む中小企業及び個人のお客様に対して必要な資金を円滑に供給していくこと、並びに経営相談・経営指導及び経営改善に関するきめ細かな支援に取組むことは、当金庫の最も重要な役割の一つであると認識し、適切なリスク管理体制の下、金融仲介機能を積極的に発揮して行きます。

2. 借入条件の変更等の申込みに対する対応状況を把握するための体制

- ・借入条件の変更等のお申込みに対する対応状況を適切に把握するため体制を整備し、お客様からのご相談・お申込みに積極的に対応しています。

金融円滑化管理体制

- ◇総括責任者…………… 理事長
- ◇管理責任者…………… 融資部担当役員
- ◇営業店責任者…………… 支店長
- ◇営業店相談窓口担当者…………… 各支店融資担当役員
- ◇経営支援・苦情相談窓口…………… 融資部経営支援課担当者

3. 借入れ条件の変更等に係る苦情・相談を適切に行うための体制

借入れ条件の変更等に係る苦情・相談を適切に行うため各営業店においては、「金融円滑化ご相談窓口」を設けて「相談窓口担当者」を配置し、本部においては、「経営支援・苦情相談窓口」を開設し、借入れ条件の変更等に係るお客様からの苦情・相談に営業店、関連部署と連携のうえ適切に対応しています。

4. 中小企業者の事業についての改善又は再生のための支援を適切に行うための体制

中小企業者の事業についての改善又は再生のための支援を適切に行うために、経営相談や経営指導の専担部署として、融資部内に経営支援課を設置しており、営業店と一体となってお客様の経営の改善や事業再生の支援を行います。